

らいつの和



平成21年度「つどいの会」を開催しました ～11月8日（日）のじぎく会館にて～

「つどいの会」に想いを寄せて

理事長 神谷 良子

ミュージックベルのやさしい響きにつつまれ、今年も「つどいの会」を開催することが出来ましたことに心より感謝申し上げます。1982年に設立された神戸ライフ・ケア協会も、皆さまに支えていただきながら、27年という歴史を積み重ねてまいりました。この「つどいの会」は、当協会を応援してくださる方やOB・OGの方々、また、共通の理念のもとに、部門や職種の枠を超え日々活動に励む多くの仲間たちとともに、みんなで集える会として年に一度開催しています。今年も20代から80代の大勢の方々が集まってくださり、交流を深めることが出来ました。みんなの心の絆がバトンとなって、過去・現在・未来へと引き継がれていくことを願っています。

第1部 ミュージックベル演奏（音楽グループ コスモス ※2ページ参照）

♪「愛の挨拶」「アルハンブラの思い出」「大きな古時計」「コスモスのテーマ」♪

音楽することの楽しさをからだ一杯で感じられる満面の笑顔に心和ませてもらいました。心にしみる音楽とはこういうものだと思わせてくれた一時でした。



第2部 講演会「ライフ・ケア？・・・今をどう生きる、心のあり方」

杉井 玄慎氏

臨済宗大本山東福寺塔頭たっちゅう 即宗院住職 杉井玄慎氏

（甲南大学を卒業。慧日幼稚園園長や社会福祉法人洛東園理事等としても活躍中）



『価値観は人によって違い、また言葉というのは必ずしもその人の思いとは限らないため、相手の心を理解することは容易なことではない。相手の心をわかるためには、まず自分の心を理解する必要がある。「若い時に旅（修行）をせねば、年老いての物語がない」年老いて物語れる人になるためには様々な体験をし、自分の知識としてたくわえることが重要である。自分がした体験は自分だけのものであるからこそ、そこから出る言葉は相手の心にすっと入っていくのである。人は常に体験をしているが、五感（視覚、聴覚、嗅覚、味覚、触覚）を働かせていないと気づかないことが多い。五感を研ぎ澄ますためには、喜怒哀楽を大きく持つことが大切だが、深みには入らないようにしてほしい。相手にももちろん五感があるため、自分の感情は必ず相手に伝わり影響するからである。自分の心がどういう状態なのかをわかることができれば、その感情からすっと引いてみてほしい。そうすることで、相手の心に気づき理解することができる。理解するということは、存在を認めることであり、それは相手に「安心（あんじん）」を与え、「生きがい」を感じることにとつながるのである。』

住職の低く張りのある声で、ゆっくりと絶妙の間を取りながら、語られる言葉は一つ一つが五感を刺激し、心に伝わるものがありました。



ゆとり開催

ほっこり落語会



10月22日(木)東部事務所の隣にあるクリスチャンセンター大ホールにて、落語家<露の団六師匠>による落語会を開催しました。当日は晴天に恵まれ、100名近い方々が来られました。実は団六師匠は、御影在住。本当にご近所の関係で、控え室は“自宅”というほどお近くです。座布団持参で気楽に来ていただきました。「子ほめ」というお題で演じられ、皆さま大声で笑って、明るい顔で帰っていかれました。



☆次回開催のお知らせ☆

新春コンサート 2010
Happy Smile Concert
2010年1月28日(木)午後2時～
会場：クリスチャンセンター 大ホール
出演：望月 恵里(音楽療法士)
音楽グループ コスモス

♪「音楽グループ コスモス」♪

養護学校を卒業した音楽好きな仲間が集まり、平成元年にグループを結成。音楽を楽しむだけでなく、コンサート活動を通じてアフガニスタンの子ども平和募金やスペシャルオリンピック活動資金基金などに協力もされています。メンバー一人ひとりが夜空の小さな星のように輝くことを願って、“コスモス”と命名されました。



あんしんすこやかセンター

はつらつ講座のご紹介

あんしんすこやかセンターでは、高齢者の方が地域でいつまでも楽しく元気に過ごすことができるようにと、様々な介護予防の取り組みも行っています。

「はつらつ講座」もその一環で、体だけではなく心も元気になって頂くことを目的に、テーマを替えながら年4回開催しています。参加者の皆さんからは「楽しかった」「元気になった」との声も多く、ご好評を頂いています。



メイクアップの様子

今年度の開催 6月「ひざ・腰の痛みとんでいけ～！」
9月「もぐもぐカムカムお口の健康」
11月「きれいになりたあ～い！メイクアップ」
来年2月予定「ゆつたりのんびり楽しいヨ～ガ♪」

ヘルパー募集！ボランティア募集！！

登録制ですので、お好きな時間を選んで活動して頂けます。「1日だけ」でも結構です。資格のない方や未経験の方も大歓迎です！

介護保険・訪問介護の”特定事業所加算Ⅱ”を取得しています！

西部事務所では、東部事務所に続き6月より「特定事業所加算Ⅱ」を実施しております。
ご利用者様により良いサービスの提供ができるように、ヘルパー研修の内容の充実をはかり、質の高い事業所として利用者の皆様に信頼していただけるように取り組んでおります。

♪ふれあい交流会♪の報告

地域の方々、利用者の方たちに当協会を知って頂こうと7月15日（水）♪ふれあい交流会♪を開催し約20名の参加がありました。

短冊に、お願い事を書いていただき、皆様それぞれ七夕の笹に飾り付けから始まりました。
落語では、笑い声があふれとても素敵な笑顔でいっぱいでした。そしてその後の茶話会では、神戸ライフ・ケア協会の活動内容や絵手紙の先生の佐奈喜氏の楽しいお話などがあり、皆様楽しいひと時を過ごされました。



お誕生日カード作りのご案内

西部事務所では、月に一度、利用者様に送るバースディカード作成しています。
ちぎり絵・折り紙・淡彩画の手作りカードを試行錯誤しながら、賑やかに楽しい時間を過ごしています。
アイデアをお持ちの方、気分転換をはかりたい方、参加をお待ちしております。

- ※ 日 時： 毎月第3木曜日 午後～
- ※ 場 所： 西部事務所 1階



～神戸市養育支援ヘルパー派遣事業が始まりました～

産後ホームヘルプサービスに加え、7月から神戸市養育支援ヘルパー派遣事業がはじまりました。
このサービスは育児ノイローゼ、産後うつなどで養育能力がおち、児童虐待の恐れやリスクを抱え、特に支援が必要と認められる家庭を対象にヘルパー派遣を行い、支援していくものです。お母さんが育児を放棄しないよう或いは、子供たちを虐待から守れるよう市と連携をとりながら取り組んでいきたいと考えております。

<お問い合わせ先>

東部事務所:078-854-1346
西部事務所:078-706-2323



お気軽に
お電話下さい

えがおの窓口（指定居宅介護支援事業者）

介護保険のサービスを利用するとき、相談にのってもらえる県知事から指定を受けた事業者です。
本人や家族からの依頼により、介護が必要な方の要介護認定の申請も代行に行っています。（申請代行にかかる費用は通常無料です。）

「えがおの窓口」シンボルマーク



「えがおの窓口」は、「指定居宅介護支援事業者」の神戸市における愛称です。

◇主な業務◇

ケアマネジャー（介護支援専門員）が要介護や要支援の認定を受けた方について、どのような介護サービスが必要かを判断し、本人や家族の希望を踏まえ、具体的なケアプラン（介護サービス計画）を作成します。（ケアプラン作成にかかる費用は全額保険から給付されますので、利用者の負担は原則としてありません。）



東部・西部 神戸ライフ・ケア協会のえがおの窓口

『その人らしさ』を大切に『自分らしい』暮らしができるようにお手伝いしています。
東西合わせて 11 名のケアマネジャーが活動しています。

**神戸ライフ・ケア協会のえがおの窓口は丁寧で親切！
何よりも全員が熱いハートで利用者さんの幸せな生活のために活動中です。
介護の相談はおまかせ下さい！**



ありがとうございました

多くの方々からご支援の申し込みをいただき、厚くお礼申し上げます。私どもの活動に有効に使わせていただきます。（敬称略 五十音順）

○賛助会員〔平成 21 年 6 月～12 月〕

杓谷 幸子 瀬戸口 雅子 津田 ひろ 津田 美智子 廣池 宣子

○ご寄付下さった方〔平成 21 年 11 月まで〕

相川 康子 青木 ふさ 岡田 和子 神谷 良子 亀田 哲郎 川崎 鈴恵 木下 カミ
清水 満子 高澤 明 田上 礼子 津田 ひろ 長谷川 みよ子 藤村 鈴 宮川 喜美子
本川 経子 故森定理事 大和 みつ

賛助会員募集

神戸ライフ・ケア協会は地域の中で皆様とともに歩んでいきたいと思ひます。
私達の趣旨にご賛同いただけましたら是非、賛助会員としてご協力下さいます
ようお願い致します。

賛助会員:年会費 2000円

〔振込み先〕 ゆうちょ銀行：特定非営利活動法人 神戸ライフ・ケア協会

口座番号：00910-0-129412

◇編集後記◇

今年は、神戸まつりが延期になったあのおときから、‘新型インフルエンザ’に振り回された年でしたね。今年も後わずか・・・新しい年を迎える準備に忙しいと思ひますが、来年も風邪やケガなどに気をつけて、よいお年をお迎え下さい。
《広報委員一同》